

公益社団法人日本青年会議所
スローガン

輝く個が切り拓く
真に持続可能な国
日本の創造

公益社団法人日本青年会議所
中国地区協議会 スローガン

個と個の輝きの共鳴による
彩あふれる中国地区の創造

公益社団法人日本青年会議所中国地区
岡山ブロック協議会 スローガン

誰もが輝き未来に
夢を描くことのできる
岡山の創造

公益社団法人岡山青年会議所
スローガン



〔目次〕

[1]	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	基本理念 基本方針	
[2]	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	理事長所信	
[3]	副理事長方針			
[4]	専務理事・常任理事方針			
[5]	委員長事業計画			
[6]	監事抱負			
[7]	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	委員会職務分掌	
[8]	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	年間公式スケジュール表	
[9]	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	組織図	
[10]	公益社団法人日本青年会議所	2021年度	出向者	
[11]	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2021年度 出向者	
[12]	公益社団法人日本青年会議所	中国地区岡山ブロック協議会	2021年度 出向者	
[13]	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	理事長セクレタリー	
[14]	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	役員選挙管理委員会 委嘱メンバー	
[15]	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	収支予算書	
(付)	公益社団法人岡山青年会議所	2021年度	理事長公職委嘱表	
	公益社団法人日本青年会議所	2021年度	組織図	
	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2021年度 組織図	
	公益社団法人日本青年会議所	中国地区岡山ブロック協議会	2021年度 組織図	
	公益社団法人岡山青年会議所	歴代理事長		
	公益社団法人日本青年会議所	J C 宣言文		

基本理念

時代の変化を捉え、品格ある青年として情熱をもち先頭に立って行動し、まちにプラスのスパイラルを巻き起こそう。創始の精神に立ち返り限りない可能性を信じ、最も価値ある団体であり続けられるよう、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造しよう。

基本方針

時代に即した質を追求し、新しいプロセスのスタンダードを構築していこう。「ひと」やまちのために力を尽くせる品格ある輝く人財を育み、郷土おかやまにプラスの影響を与えていこう。

まちの活性化のために未来を切り拓く若者らしい運動を展開し、地域全体を巻き込む能動的な意識を生み出そう。岡山青年会議所にしかできない新たな活動を繰り広げ、輝く価値を芽吹かせていこう。

青年経済人ならではの柔軟な発想と大胆な行動力で、愛する地域の未来にプラスの価値を創造しよう。同じ志を持つ仲間一人ひとりが、さらに輝く存在となることで岡山JCをまちのトップブランドへと昇華させよう。

多様な視点で環境を捉え、青年らしい多彩な発想で未来を見つめ、一人ひとりが輝ける交流の場を創りあげよう。相手を思いやる心と「ひと」と出会う喜びに今こそ立ち返り、輝く運命を切り拓こう。

時代の流れに対応した組織の在り方を構築し、持続可能な団体であり社会に信用される堅実な組織運営を心掛けよう。柔軟な考えをもち効率的かつ生産性のある会議運営へと進化させていこう。

公益社団法人 岡山青年会議所

2021年度 理事長所信

第71代理事長

小林 佑輔

<はじめに>

人類にとって戦後最大の脅威となった新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより世界規模の社会的危機が引き起こった2020年。経済的にもインバウンド需要の消失や外出自粛による個人消費の落ち込みにより国内経済にも深刻な打撃を与え、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしています。誰も見たことのない未知の世界で不安と期待が入り混じる今こそ、戦後の経済復興を果たした青年会議所の創始の精神に立ち返り、青年経済人である私たちがまちを活性化させ、未来に大きな足跡を残していかなければなりません。人生の学び舎である青年会議所で幾多の経験や学びを得て成長した私たちには、何事も「プラス」に転換していく思考が備わっています。地域の課題を解決しようとする私たち一人ひとりの意識の変化が次々と同志を増やし、市民に波及し大きなうねりへと変わり、まち全体が前向きに現状を乗り越えようとする風潮が起きることが、青年会議所運動の本質であり目指すべき姿です。私たちの先達も窮地に立たされた時、自らの利ではなく「ひと」のため、地域のために懸命に行動し、JAYCEEとしてのあるべき姿を示し続けてくれました。今まさに私たちが志と覚悟をもち、自律して行動を起こし、未来を切り拓いていく時なのです。現状をポジティブに捉え、未来の進むべき道を照らす光となることで「ひと」が希望を見だし、まちが明るく輝くことになるのです。若者らしい純粋な正義感と果敢に動く実行力をもち、先頭に立って行動を起こし「プラス」のスパイラルを生み出していく原動力となりましょう。そして、試練を乗り越え、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造しましょう。

<品格ある輝くリーダーの育成>

岡山青年会議所が脈々と受け継いできた「ひとづくり」の精神は、71年目を迎える今でも私たちの魂として心に宿り続けています。時代が急速に変化している今「ひとづくり」のプロセスは大きな転換期を迎えています。ひざを突き合わせて語り合うことだけではなく、岡山青年会議所が大切にしてきた礼儀礼節やおもてなしをどのように伝承していくのか、三信条をつきつめた先にある感動体験や自分の限界を超えた時に味わう自己成長をどのように成し遂げていくのか、手法やプロセスを考える必要があります。今社会から求められているのは、岡山のまちを担う品格あるリーダーの育成です。気高さと信念をもち、状況を的確に捉え、いかなる時でもキラキラとした空気感を創り出せることが品格であり、己を律し模範となり「ひと」のために力を尽くし、成長の機会を与えることがリーダーとしての役目です。演じるのではなく、自然に立ち居振る舞いができることで品格あるリーダーとしての型となり、像となり、生き様となっていくのです。岡山青年会議所の「ひとづくり」が目指

す理想の姿を示し、時代に即した質を追求したプロセスで「NEW JAYCEE」としてのスタンダードを構築しましょう。そして、岡山のまちに「プラス」の影響を与えるリーダーを育成しましょう。

＜ポジティブ・インパクトでさらなる輝きを＞

青年会議所が目指す「まちづくり」とは、まちを誇りに感じる市民を一人でも多く増やすことです。行政や他団体とパートナーシップを組み、私たちが旗振り役としてあるべき姿を示し、まちの活性化のために一石を投じなければなりません。市民にモチベーションを与えポジティブの波を起こし、現状を打開するインパクトある運動を展開し、青年会議所でしかない「ポジティブ・インパクト」を巻き起こすことで「まちづくり」に参加したいと思う能動的な市民を増やすことができます。私たちの思いと行動が伝播することで「プラス」のスパイラルが巻き起こり、地域の「ひと」や資源の魅力をさらに輝かせ価値を生み出し、まちの永続的な発展につながるのです。若者らしい発想力で「あっと驚く」事業に挑戦し、大人から子どもまで多くの市民がまちの未来に夢を抱き、一人ひとりが輝く活気に満ち溢れた「おかやま」を創り上げましょう。

第27回を迎えた「うらじゃ」は、2020年の開催ができませんでした。私たちは先輩諸兄がつくりあげてこられた「うらじゃ」の火種を絶やすことなく活動を続けてきました。「共生と融和」をつきつめ、まちの誇りとしてさらなる進化を遂げることができれば「うらじゃ」は新たな価値をもつものとなります。より多くの市民が参加し、笑顔が溢れる祭りとなるよう誇りをもって盛り上げましょう。また、まちをあげての画期的な振興活動も地域発展の大きな一歩となります。県内だけではなくより多くの「ひと」に認知され、愛着をもたれる岡山の風物詩として永続する祭りとなるよう「うらじゃ」の輝きを高めましょう。

＜価値ある輝くトップブランドへ＞

設立趣意書に「経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。」と記してあります。経済とは「世を経（おさ）め、民を済（すく）う」という「経世済民」に由来する言葉であり、国難ともいえる試練に直面している今こそ創始の精神に立ち返り、世のため人のため、地域の未来のために経済活動を「プラス」に転換する必要があります。行政では手の届かない市民や企業が抱える問題を見つけ出し解決するために、岡山で活躍する企業や「ひと」の価値を高める運動を行い、地域経済復興の一助となる事業を展開しましょう。また、首都圏への一極集中や人口減少による産業の衰退が懸念される中、地域の未来を担うリーダーを育成し、持続可能な地域経済を築き上げることも必要です。多くの青年経済人を有する岡山青年会議所が現状を打開するイメージを膨らませ、企業や団体と連携し「ひと」と「ひと」を結び付けるプラットフォームとなり、相乗効果で新たな価値を生み出すことで、未来から選ばれる経済都市「おかやま」を確立させましょう。

組織とは個の集結であり、「ひと」が多く集まればより輝くまちを創造する活動ができま

す。多くの「ひと」を集めるために、まずは私たちの活動意義を再認識し、岡山 J C の魅力と価値を知ってもらいたいと思うことが第一歩です。自分自身の価値を高め、時代に相応しい言動や世間に通用する深い見識を示すことで「あの人がいる J C に入ってみよう」と思われる「ひと」に成長し、説得力や信頼感が増していきます。岡山 J C は自分自身を成長させてくれるチャンスがあると感じてもらうことで、自ずと「ひと」は集まります。まちで活躍するリーダーと語り合う場を創ることで共に活動する仲間を一人でも多く「プラス」し、未来の岡山を担う洗練された団体へと進化しましょう。また、岡山 J C の存在価値を高めるための有効な広報活動も会員拡大における重要なミッションの一つです。広報誌やホームページの効果的な運用を行い、日々の活動をマスメディアや SNS を活用し積極的に発信し市民から共感や憧れを得ることで、団体としての存在価値は高まり、組織の拡大につながります。企業やマスコミとパートナーシップを組みターゲットを定め、革新的な発想と大胆な戦略で未来を創るインフルエンサーとなり、岡山 J C をまちのトップブランドへと昇華させましょう。

<輝く運命を切り拓く>

「ひと」との出会いは青年会議所活動において一番の醍醐味であり、なくてはならない大切な瞬間です。「ひと」と「ひと」のめぐり逢いは運命であり、自ら動き掴みにいくことで良き「ひと」と出会い、理想とする人間関係ができます。青年会議所同志との交流は、誇れる思い出となる輝かしい時間（とき）です。参加する側とされる側双方がその場の雰囲気を作り出し、青年会議所特有の楽しく心地よい空気感を味わうことができます。相手を思いやる心意気は、代々引き継がれている礼儀礼節を体現するものであり、岡山青年会議所が大切にしているおもてなしの心です。高いレベルで自然な立ち居振る舞いをすることで、相手が感動する最高のホスピタリティを提供することができます。今の時代だからこそ出会いのひと時を大切にし、顔を合わせ語り合うことのできる喜びをかみしめ、自らの新たな運命を切り拓きましょう。

例会は、毎月会員同士が一堂に集う唯一無二の華やかな空間であり、互いにコミュニケーションを図り未来について語り合い、感性を磨き、学びや気づきを得ることのできる場でなければなりません。毎回の開催にテーマを持ち、会員一人ひとりにどのような成長をしてもらいたいかを考え設営することが大切です。従来のある方にとらわれず、参加していることに喜びと誇りを感じる空間であれば、だれもが自ずと参加したいと思うはずです。また、市民にも多くの学びを提供する機会を創り、参加することに憧れを感じ心躍る場にすることも存在価値の向上につながります。柔軟な発想と斬新な手法で、メリハリのきいた新しい例会のスタンダードを構築し、夢を語り合える輝いた空間を創り出しましょう。

<アップデートにより輝く組織へ>

先行きが不透明な時代の中、社会から取り残されることなく常に先頭を走る団体であり

続けるために、組織を内から見直し改革を進める必要があります。公益法人格である団体として社会的信用と信頼に応えるために、時代の流れに対応した法令やルールを遵守するコンプライアンスを構築し、メンバーが自主的に徹底する統制を行わなければなりません。持続可能な団体へと成長するために、メンバーからの貴重な財源を効果的に使えるよう透明性と公平性のある堅実な財務運営を心掛け、筋肉質な組織に変化しましょう。また、私たちの運動を力強く推し進めていくためには、盤石な会議運営が不可欠です。事業計画の精度を上げ論点を明確にすることで、効率的で生産性のある会議を進めることができます。新たなツールを積極的に活用し、リアルとネットが融合した組織運営のニューノーマルを構築しましょう。今年度より日本青年会議所も組織変革の一つとしてJC宣言文の改訂を行いました。希望をもたらす変革の起点として未来を描き、社会の課題を解決することで持続可能な地域を創ることが求められています。私たちも考え方や仕組みが社会で通用するのか今一度整理し、LOMとしての目的を再認識することが大切です。「あって良かった。岡山JC」を実現するために、メンバーが「プラス」の活動ができる環境を整え、地域社会から共感を得る輝く組織へとアップデートしましょう。

<結びに>

「疾風（しっぷう）に勁草（けいそう）を知る。」

後漢書に伝わる言葉で、困難や試練に直面した時に初めてその団体や人の意志の強さや値打ちがわかるということのたとえです。国難ともいえる状況にある今、岡山青年会議所としての価値が問われています。家族や会社のために自分自身を成長させ、常にプラス思考で第三者ではなく当事者として能動的に行動し、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造しましょう。そして、輝く71年目の歴史をともに築きあげましょう。

最後に、本年度は公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会会長として井戸啓太君を輩出させていただき、多くのメンバーを出向させていただきます。貴重な経験を積み自己成長できるよう、岡山青年会議所一丸となって支援させていただく所存です。特別会員の皆様、関係各位におかれましては、本年度も岡山青年会議所に対しまして格別のご支援とご協力、ご指導とご鞭撻を賜りますことを衷心よりお願い申し上げます。

ひとづくり室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所

2021年度 ひとづくり室

副理事長 安部 真良

小林理事長より岡山青年会議所の根幹とも言うべき、ひとづくり室副理事長という大役を拝命し責務と役割の重さに身の引き締まる思いです。綾部常任理事とともに、「ひとづくり」の本質は変えず、時代変化にマッチした「NEW JAYCEE」としてのスタンダードを構築して参ります。

現在、世界的規模で猛威を振るう感染症や天災をはじめ、先の見えない世の中において、新入会員育成時間の確保が難しくなっています。71年間諸先輩方が引き継いできた「ひとづくり」を土台に今まで以上に会員研修の精度を高める必要があります。礼儀礼節を重んじ、利他の精神を持ち、心身を厳しく育てる不易の部分を根本に、手法やプロセスをブラッシュアップし、新会員が自ら積極的に挑戦し、真の友情を培い、岡山のまちにとってプラスの影響を与えられる品格あるリーダーを育成するべく、徹底した「ひとづくり」を行ってまいります。また、新会員だけではなく、現役会員がひとつでもプラスの成長に寄与できる活動や行動を、委員会メンバーが見本となり、率先して行っていきます。

最後になりますが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

まちづくり室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所

2021年度 まちづくり室

副理事長 竹田 直也

本年度、小林理事長よりまちづくり室担当副理事長という大役を仰せつかり、その重責を強く感じております。妹尾委員長率いますポジティブインパクト共創委員会、前田委員長率いますまちづくり委員会と、ともに私たちがまちの活性化のために旗振り役としてポジティブな波を起こし、インパクトある運動を展開して参ります。そして、わたしたちにしかできない地域に「プラス」のスパイラルを生み出すことで、一人ひとりが輝く「おかやま」を創り上げて参ります。

2020年度は全国的にコロナ感染症の影響でイベントや、催しなどが延期や中止となり、岡山青年会議所の事業も大きく影響を受け、夏の風物詩である「うらじゃ」は本祭の開催がかなわず悔しい思いをしました。地域間交流、産業振興が断たれたことで地域の活力が疲弊している今だからこそ岡山青年会議所が行政、他団体、企業や市民と連携し「共生と融和」をつきつめる活動をして参ります。

結びとなりますが、これまで諸先輩方から教えていただいた事を活かし、ポジティブな精神を持ち、岡山青年会議所にしかできない「まちづくり」を1年間創り上げ精進していきたいと思います。特別会員・現役会員の皆様にはより一層のご指導・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

未来創造室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所
2021年度 未来創造室
副理事長 石井 聖至

小林理事長のもと副理事長という大役を仰せつかり、光栄に思うと同時に、責任の重さを強く感じております。全力で小林理事長をお支えし、職責を全ういたします。本年度は、未来創造室副理事長として、高畠委員長率いる「地域経済連携委員会」と、笹山委員長率いる「プラスワン創造委員会」を担当させていただきます。活動を通してメンバーの成長はもちろん、地域未来に貢献する室にいたします。

昨年の新型コロナウイルスの影響により、図らずも本年度に東京オリンピックは延期となりました。日本にとって大きな節目となるであろうこの2021年が、たとえどのような状況になろうとも、私たち未来創造室は、地域にプラスの価値を創造する活動を展開します。

また、会員一人ひとりが、自身の価値を高め輝く存在となるための活動と共に、岡山青年会議所のブランド力を高める活動にも尽力いたします。それにより今まで以上に多くの人が集い、さらなる発展成長につながると確信しております。

最後になりますが、青年らしい柔軟な発想と大胆な行動力で、地域の未来にプラスのスパイラルを巻き起こします。皆様におかれましては、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

交流室

副理事長方針

公益社団法人岡山青年会議所

2021年度 交流室

副理事長 中村 彰宏

小林理事長より交流室副理事長という大役を仰せつかり、重責に身が引き締まる思いでございます。プラス思考で環境をとらえ、青年らしい発想で未来を見つめ、一人ひとりが輝けるおかやまの創出に尽力して参ります。

新型コロナウイルスの感染症拡大により全世界が未曾有の危機に瀕する今こそ、青年会議所の存在価値が問われており、自律した活動を展開するためには会員同士の良好な人間関係を構築する必要があります。「おもてなし」と「礼儀礼節」がその根幹であり、相手の想像を超えたホスピタリティで心地よい空間を創出し、今の時代だからこそひとと出会う喜びを感じていただくことに取り組んで参ります。

例会においては、未来志向でかつ能動的に参加できることを念頭に、開催テーマから一つでも多くの学びが持ち帰れる場にいたします。臨機応変に対応できる多彩な発想をもって、今だからこそできる輝いた空間を創造いたします。

最後に、団体の真価が問われる今こそ創始の精神に立ち返り、この局面をチャンスととらえ、輝く運命を切り拓くことに取り組んで参ります。特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導、ご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

総務室

専務理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2021年度 総務室
専務理事 幡山 益聖

本年度、小林理事長より専務理事の大役を仰せつかり、ありがたく光栄に思うと同時にその責任の重さを強く感じ、理事長、副理事長をしっかりとお支えし、鉄心石腸の想いで臨んで参る所存でございます。

総務室は、大森常任理事、畑委員長率いる総務委員会と共に、岡山青年会議所の事業が長期ビジョンや理事長所信に沿って行われるよう連携を密に取り、筋肉質で力強い組織運営を念頭に存在感を高めていきます。

扇の要として重要な役割を果たし、長きに亘り公の団体を統括している意識を持つことは勿論のこと、全メンバーのサポート役に徹することで盤石な組織へと更に躍進できます。時代の流れに対して柔軟な考えを持ち、社会の信用に応えられるよう、コンプライアンスを徹底し今以上に求められる団体へと進化していく必要があります。計画段階から精度を高め論点を明確にし、各々が持つ能力を最大限に発揮できるよう、新たなツールを積極的に活用した会議運営のニューノーマルを構築し、メンバーが全力で輝き活動できる場を整え、地域社会から共感を得る組織へと導いてまいります。

最後になりましたが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

ひとづくり室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所

2021年度 ひとづくり室

常任理事 綾部健二郎

本年度、小林理事長よりひとづくり室常任理事という大役を拝命し責務と役割の重さを強く感じております。安部副理事長とともに、岡山青年会議所の根幹とも言うべき「ひとづくり」に邁進してまいります。

昨年度70周年を迎えた岡山青年会議所にとって「ひとづくり」は決して揺らぐことのない不易である一方で、新型コロナウイルス感染症や不安定な気候による天災などを要因とした先行き不透明な世の中において、岡山青年会議所も「ひとづくり」に関するニューノーマルを模索しなければなりません。そのために、決して前例だけに囚われず、変えていくべきものと変えてはならないものを適切に見極め、岡山青年会議所らしい新たな「ひとづくり」の手法を確立してまいります。キラキラと輝く人財の育成を念頭に「ひとづくり」に関わるすべてのメンバーにとって必ずやプラスの成長を実感できる活動を行うとともに、岡山青年会議所や岡山のまちにとってプラスの影響を与えられる、品格溢れるリーダーを育成すべく全力で活動していく所存です。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

未来創造室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2021年度 未来創造室
常任理事 加藤 高明

本年度、小林理事長より未来創造室常任理事という大役を拝命され、責務と役割の重さを強く感じております。石井副理事長と共に、高畠委員長の率いる地域経済連携委員会と笹山委員長の率いるプラスワン創造委員会を担当させていただきます。

昨年は戦後最大ともいえる新型コロナウイルス感染症により、郷土おかやまも甚大な被害を受けました。この被害を少しでも回復できるよう、地域の経済活動を活発化させ、市民や企業の抱える問題を解決し、行政他団体との連携による持続可能な事業を展開してまいります。そして、岡山青年会議所が未来を創るインフルエンサーとなれるよう積極的な情報発信により、岡山青年会議所のブランド力を高め、会員数の増加に繋がります。これらの活動をとおして、企業の問題解決・持続可能性の発見による新しい成長戦略、地域経済の回復、他団体との連携、仲間の増加による数の力など各因子の相乗効果による「プラス」が期待され、地域に必要とされる輝く団体となれるよう、全力で活動していく所存です。

末尾になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、一層のご指導ご鞭撻並びにご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

交流室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所

2021年度 交流室

常任理事 二垣 幸広

小林理事長より交流室常任理事という大役を仰せつかり、光栄であると同時にその重責を強く感じております。中村副理事長にご指導いただきながら、本多委員長率いる渉外委員会、林委員長率いる例会委員会と一人ひとりが輝き新たな運命を切り拓ける「唯一無二の場」を創出して参ります。

新型コロナウイルスの感染症拡大により全世界が未曾有の危機に瀕し、当たり前のように感じていた従来の日常生活を送ることが出来なくなりました。こんな困難な時代だからこそ青年同志が顔を合わせ語り合い、共に切磋琢磨できる一生涯の友と出会える場の創出を岡山青年会議所が大切にしてきた「おもてなし」の心で体現いたします。

毎月開催される例会は、能動的な参加により所属していることに誇りを感じ、一つでも多くの学びや気づきを自社や家庭に持ち帰れなければなりません。過去に捉われない斬新な発想や手法で、岡山青年会議所の存在価値を対内外問わず向上して参ります。

最後に、青年らしい発想と行動で必ずや現状を打破し、「おかやま」のまちをプラスへと転換させることを誓います。特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

総務室

常任理事方針

公益社団法人岡山青年会議所
2021年度 総務室
常任理事 大森 将平

本年度、小林理事長より総務室担当常任理事を仰せつかり、その重責とやりがい強く感じております。幡山専務理事よりご指導をいただきながら、畑委員長率いる総務委員会と共に岡山青年会議所が紡いできた71年間の歴史と伝統を受け継ぎ、全力でその責務を果たす所存でございます。

総務室は、岡山青年会議所の扇の要として重要な役割を果たし、公益法人格である団体として社会の信用に応えられるよう、コンプライアンスの精度を高め、メンバーが自律的に遵守できるよう、LOM全体に周知徹底していくことにより、組織としての質を高めて参ります。また、各事業を計画段階から精度を高めることにより、論点が明確になり、効率的で生産性のある会議運営を行い、アナログとデジタルを融合させた新たなツールを積極的に活用した会議運営のニューノーマルを構築していきます。地域に根付いた若者の団体としてメンバー一人ひとりが輝き活動できる場を整え、地域の課題を解決することで地域社会から共感を得るあつてよかつた組織へと導いてまいります。

最後になりましたが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

ひとつくり室

会員研修委員会事業計画

会員研修委員会 委員長 安部 真良

世界的規模で猛威を振るう感染症や天災をはじめ、先の読めない混迷の時代であるからこそ、戦後復興に青年会議所が立ち上がったように、我々青年経済人が先頭に立って新たな時代を創る必要があります。連綿と受け継がれてきた岡山青年会議所の諸先輩方の精神を受け継ぎ、礼儀礼節と利他の精神に溢れ、自らを律し、自己成長に貪欲なリーダーを育成してまいります。

本年度、ひとつくり室では、まず青年経済人としての礼儀礼節やマナー、考え方の基礎を学ぶべく新会員勉強会を実施します。そして毎月の委員会では、岡山の経済界や地域社会を牽引する特別会員の先輩にご講演をいただくことで、岡山青年会議所の活動意義、リーダーシップやフォロワーシップ、利他の精神を学ぶ機会を創ります。研修の最初のプログラムとして3分間スピーチを実施し、徹底的に自分自身と向き合い、自己開示を行うことで、自身の成長像と自己実現へのビジョンを明確化します。2つ目のプログラムとして、集団で困難に立ち向かい、お互いの切磋琢磨や団結を通じて乗り越える経験を通して、日常生活では得難い感動体験や友情・絆の芽生えを創出させます。最後のプログラムとして、LOMサービス事業の企画・運営を通して岡山青年会議所の事業運営の基礎を体感し、礼儀礼節とおもてなしに溢れる設営や利他の精神を学び、困難の先には大きな成長と感動の涙、そして真の友情が得られることを肌で感じてもらいます。また、研修プログラムに限らず岡山青年会議所の事業はもとより、JCI日本、中国地区、岡山ブロックの事業にも参加することの意義を伝え、積極的に参加し多くの価値観に触れるとともに、各地メンバーとの出会いや気付きを通して更なる成長を図ります。

岡山青年会議所の不易である「ひとつくり」を重視しつつも、時代に即した「ひとつくり」の新たな手法を確立することで、キラキラと輝く品格溢れるリーダーたる人財を育成するとともに、常に能動的に行動することでプラスのスパイラルを巻き起こし、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

まちづくり室

ポジティブインパクト共創委員会事業計画

ポジティブインパクト共創委員会 委員長 妹尾 愛希

わたしたちが愛する郷土「おかやま」には多くの資源がありますが、地域社会への情報発信が十分にできていない現状があります。わたしたちが目指す「まちづくり」は、市民の一人ひとりが「まち」に誇りを持ち、能動的に岡山の魅力を発信していく人を増やす事です。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、岡山青年会議所の事業も多くの影響を受けました。しかし、本年は社会情勢がどのような状況になろうとも過去の教訓を活かしプラスのスパイラルで「まち」を活性化させ、多角的な方法を見つけ出し、多くの市民が「まち」の未来に夢を抱き、プラスのスパイラルで能動的に一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

青少年育成事業については、他団体と協力し、スポーツを中心としたこどもたちが楽しみながら学ぶ事のできる参加型事業をします。自身の運動能力の把握と運動不足の解消を目的とし、無限の可能性を持っているこどもたちの選択肢を広げられる仕組みを創り上げます。地域活性化事業については、岡山の名所に、行政、他団体、企業、地域社会、等の多くの人々を巻き込み岡山ならではの特徴を施し、岡山青年会議所の歴史をプラスのスパイラルでかけ合わせ、後世に残せる新名所を創ることにチャレンジをします。地域創生事業については、若者ならではの発想力で岡山の資源に現代の技術を合わせ、岡山の新たな価値を創り出し「まちづくり」を促進していく事を目的とした事業を展開します。岡山市内をフィールドとし、行政や様々な団体を巻き込み、大きなムーブメントとプラスのスパイラルを巻き起こす運動を行います。

今の世の中だからこそ注目されている新しい手法と共創的な発想でチャレンジする事を恐れない事業運営を行います。全事業を通して、行政、他団体、企業、地域社会等の多くの人々を巻き込み「まち」に新しい価値を創り上げ、未来あるこどもたちの可能性を広げ、地域資源の有用性を再確認し、多くの市民が能動的に行動することでプラスのスパイラルを巻き起こし、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

まちづくり室

まちづくり委員会事業計画

まちづくり委員会 委員長 前田 淳

わたしたちのまちは、全国的に見ても穏やかな気候が多く、自然災害が少ない事や中四国の交通結節点としてアクセスも良く、住みやすく魅力的です。しかし、県外への魅力発信が十分ではなく全国的な認知度は高いとは言えない現状があります。

まちづくり委員会として、市民が自然と郷土愛を他者へ伝播し、まちを誇りに感じる市民を一人でも多く増加させる必要があります。また、先輩諸兄が築き上げられた「うらじゃ」の本質を理解し、青年として柔軟な発想でインパクトある運動を行うことで、活気溢れた「おかやま」を創り上げていきます。本年度第27回目を迎える「うらじゃ」は、先輩諸兄が「共生と融和」をテーマとして築き上げられた事で、岡山の夏の風物詩として定着しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は開催する事ができませんでした。本年度は、より多くの市民から愛され、さらに郷土愛が育まれる祭りとする為、実行委員会および関係各所と密接に連携し、誇りをもって活動して参ります。年間を通じて行う振興活動においては、様々な媒体を活用し、本祭へ足を運ぶ事ができない方にも「うらじゃ」の魅力を発信します。「うらじゃ」を一人でも多くの方に広める為、マスコミや行政と連携した広報活動、将来の担い手となる若い世代に向けた教育現場とのタイアップを積極的に取り組みます。また、第7回目を迎えるキッズビジネスパークは、郷土のこどもたちが地元企業への就労体験を通じて、地域の方と触れ合う事により郷土愛を育み、働く事の楽しさを感じていただき、未来への希望を芽生えさせます。そして本年度は、他団体への移行を完遂する為にも、関係各所と密接にかかわって参ります。

わたしたちは「うらじゃ」の火種を絶やす事なく時代に合う手法を考え積極的に挑戦し、さらに「うらじゃ」を昇華させ、まちの未来に夢を描ける青少年を一人でも多く育成する為に、委員会メンバー全員が常に能動的に行動することでプラスのスパイラルを巻き起こし、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

未来創造室

地域経済連携委員会事業計画

地域経済連携委員会 委員長 高畠 裕介

未曾有のコロナ禍により郷土「おかやま」には会員企業を含め地域に対し大きな疲弊が生れており、まずは地域の基盤となる社会経済をプラスのスパイラルに昇華させる大きな一歩を踏み出していく必要があります。産官学が手を取り合い、郷土の価値を再認識し足元から強い「おかやま」を持続可能な経済にするためには、時代に則した柔軟な変化を受け入れ、新たな価値を創造していく必要があります。

対内向け事業として、岡山青年会議所の会員は企業自身が、変わりゆく時代から新たな多様性やアイデアに気付くヒントを考察し、今までには感じられなかった領域を知り、新たな価値を得ることで自社の企業価値を上昇させるために、持続可能性を社業に具体的に取り入れていくことで、会員企業の成長のサポートをしていきます。長期的な企業価値を高める考え方を会員企業が取り入れることで、時代にマッチした企業の進むべき方針を見出し、社会貢献が単なる奉仕の側面だけではなく、実益も得ることで持続可能性の高い事業になることを理解し、会員企業自身の業績も向上させていきます。対外向け事業については、時代や状況を悲観するだけではなく、新たな時代に則したビジネスモデルや、時代を切り拓いていくイノベーションを起こしていくためのマインドを育て、成熟させることにより地域にとって必要な人材を育成していくことも同時に行わなければなりません。そして次世代を担う市民やリーダーに対して、これからの多くの障壁に対しても産学連携を含めた、新たな時代に則した変化を生み出す中で、岡山の未来を経済的、具体的に見据えてこそ岡山の未来を見守るだけではない将来に対しての支援となるのです。域経済連携委員会では、対内と対外の柱で地域に根差した事業を構築していきます。

青年会議所として、変化を求められる時代だからこそ委員会メンバーと共に国難と言えるコロナ禍を打破し、思考の場所を生み出せる団体となり、常に能動的に行動することでプラスのスパイラルを巻き起こし、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

未来創造室

プラスワン創造委員会事業計画

プラスワン創造委員会 委員長 笹山 勇二

岡山青年会議所は会員数の伸び悩みという大きな課題を抱えています。加えて新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで会員拡大活動が困難な上、拡大対象者も入会の決断ができない状況にあるかもしれません。しかし、未曾有の危機状況であるからこそ私たち岡山青年会議所が率先して困難に立ち向かうしかありません。そのためにもより一層の会員拡大と広報活動が求められます。

会員拡大については、前期18名、後期18名の入会を目標とします。目標を必達するため2つの事業を展開します。拡大交流会では岡山市民の拡大対象者と岡山青年会議所の諸先輩方や岡山青年会議所メンバーで懇親会をします。市民の皆様に岡山青年会議所の取り組みや存在意義を理解してもらうことで、知名度があがり20、30代の経営者に目を向けてもらいます。そして懇親会の相乗効果により、岡山青年会議所のブランディング化、会員拡大に繋がることを目的といたします。また現役会員を対象に会員拡大をしたメンバーには、個人的に表彰していきます。もう一度メンバーへの会員拡大活動に対する意識改革をし、長期ビジョンへの落とし込みをしていきます。そうすることで、「プラス」の作用になると確信しています。広報活動については、暖流やSNS、地域のマスメディアを活用し、使用しているホームページやフェイスブックを新たなSNSに連動させ、有効に活用した広報活動を展開します。各方面で「プラス」の広報展開を通して岡山青年会議所の事業を発信することに留まるのみならず、岡山市民の共感を得られることで岡山青年会議所への憧れ、また会員拡大にも寄与したいと考えます。

岡山青年会議所メンバーの成長と新たなリーダーの創造、加えて岡山青年会議所のひとづくりとまちづくりの魅力を発信し、社会からの共感を得ることで、これまで以上に地域に寄り添い、持続可能な社会の実現に貢献する輝ける団体として「プラス」に進化させ、常に能動的に行動することでプラスのスパイラルを巻き起こし、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

交流室

渉外委員会事業計画

渉外委員会 委員長 本多 高明

「ひと」と「ひと」が出会い膝と膝を突き合わせて対話する、以前では当たり前のように感じていたこの時間が新型コロナウイルス感染症により、青年会議所活動や日常生活に大きな影響を及ぼしています。そして、不安と混乱がある今だからこそ岡山青年会議所の根底でもある「OMO I Y A R I」と「おもてなし」の心で新たな手法を確立し、安心して「ひと」と出会う喜びを感じることができる時間の創出が渉外委員会の責務です。

新年賀詞交歓会では、歴代理事長はじめ多くの特別会員の皆様、同じ志をもった各地会員会議所の皆様にご臨席賜ります。このような時代だからこそ現状を敏感に捉え対策をすることで参加する側と、される側双方が楽しく心地よい空間を創出します。出向者の支援、協力はLOMメンバー全員の職務であることを認識していただき、高いレベルでの立ち居振る舞いと一体感を感じられる時間を創り、LOMを代表して出向するメンバーには、自己成長は勿論のこと、岡山青年会議所の看板を背負って出向することに自覚、責任を持っていただく時間とします。また、お越しになられた他LOMの方には「おもてなし」を通じて感動していただける空気感を創出いたします。友好LOM交歓会では、飲食を共にするだけでなく縦横のつながりをより強固にすることを意識し設営をまいります。友好LOMの担当者と綿密な打ち合わせを行い交歓会の時にだけ顔を合わす関係にするのではなく、メンバー同士が強い絆を深めるような時間を創出します。特別会員の皆様にご臨席賜る交歓会では、今後もご参加いただけるような心地よい時間と空間を創出いたします。また、自ら動きめぐり逢いを掴みにいくことで世界の青年会議所同志との交流につながります。

これらの事業を行うにあたり自身がプラスになるだけでなく、相手を思いやる「利他の心」を学び礼儀礼節を重んじ活動することで新たな運命を切り拓くことができます。そして、常に能動的に行動することでプラスのスパイラルを巻き起こし、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

交流室

例会委員会事業計画

例会委員会 委員長 林 利光

新型コロナウイルス感染症は私たちの社会活動、日常生活に多大な影響を及ぼしました。岡山青年会議所の活動も例外ではなく、大きな変革を求められています。例会は設立当初から脈々と受け継がれ、開催されている歴史のある事業です。設立当初から培われてきた例会開催の趣旨を今一度見つめ直し、会員一人ひとりが自発的に参加し、それぞれが輝きを放つことができる会の設営が求められています。

例会は会員が一堂に集う場であり、唯一無二の華やかで学びや気づきのある空間でなければなりません。開催する例会には全てにテーマを設定し、毎回何かを持ち帰ることができる会の設営を行います。例会は学びの場であり神聖な空間です。今一度創始の精神に立ち返り、例会での立ち居振る舞いを会員全員に共有することでメリハリのきいた会場の空間を創ります。また、委員会や同好会、出向者の報告を積極的に発信し合える場を提供し、会員全員が輝ける場を創り上げます。企画例会では、通常とは違う和やかな雰囲気の中で例会を行い、普段つながりを持ちづらい会員同士のコミュニケーション向上の場として設営し、LOM全体の一体感の創出につなげます。特別会員・現役会員合同例会では、礼儀礼節を重んじ「おもてなし」の精神で設営することにより、参加者全員に岡山青年会議所の素晴らしさ、可能性を感じていただくことができるような会を設営いたします。市民公開例会では、市民の皆様に興味を持っていただける著名人を招き、講演していただくことにより、市民の皆様にも学びを得ていただき、郷土「おかやま」のさらなる発展と岡山青年会議所のブランディングの向上へとつなげます。

例会委員会は、青年らしい柔軟な発想と斬新な手法を用いて新しい例会のスタンダードを確立させ、毎月開催する例会を有意義な学びのある会にしていくことで岡山青年会議所の存在価値をより一層輝かせます。委員会メンバー一人ひとりが輝きを放ち、常に能動的に行動することでプラスのスパイラルを巻き起こし、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

総務室

総務委員会事業計画

総務委員会 委員長 畑 利昌

創立以来、岡山青年会議所は活動や事業を通じてメンバーが自己成長を遂げる機会を創出し続けてきました。それはコロナ禍でも変わることはありません。困難な社会情勢の今、改めて我々の存在価値が求められています。郷土おかやまにとってプラスの存在であり続けるために、組織を構成するメンバー一人ひとりの更なる資質向上と、活動や事業で委員会同士がより密な連携を図ることで、組織をより盤石なものにすることが必要不可欠です。

本年度の総務委員会は社会情勢に合わせた柔軟性を保ちながら、その時々にはふさわしい法令やコンプライアンスを徹底した組織運営に努めてまいります。組織の根幹である総会や理事会の会議運営では、定款に沿った運営や資料作成に加え、各委員会の事業計画等に対して総務委員会も担当委員会と共に議案を作成している気概を持ち精査を行い、その精度を上げ、会の円滑な進行に尽力します。また時の社会情勢を鑑みコンプライアンスマニュアルの精度を上げ、団体として社会的信用や信頼に応えること、加えて新たなツールを活用した会議運営のニューノーマルを構築し、どんな状況下でも歩みを止めず、より盤石な体制を図ります。扇の要の総務委員会メンバーは役職にとらわれず組織全体のことを考え、全活動や事業に当事者意識を持つことに努めます。総務上程にあたっては事前に委員会内で情報共有を行い、内容を十分に把握したうえで職務にあたります。さらに予定者セミナーを実施し、委員長、副委員長、幹事に職責を理解してもらうと同時に、LOM全体の資質向上、委員会同士の横のつながりを構築することを目指します。そしてシニアクラブ総会、世話人会を通して、特別会員から歴史や伝統を学び、今後の活動に活かす学び多い設営を行います。

まず総務委員会が、その職責を理解し盤石な体制で、他委員会へ積極的に情報発信を行い連携強化することで、岡山青年会議所が筋肉質で力強い組織になり、常に能動的に行動することでプラスのスパイラルを巻き起こし、一人ひとりが輝く「おかやま」を創造します。

監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所
2021年度 監事 井戸啓太

2021年度、小林理事長より公益社団法人岡山青年会議所監事のご指名をいただき、その重責を強く感じ、粉骨砕身の想いで臨んでまいり所存でございます。小林理事長が掲げられます理念をメンバー全員が理解し前向きな想いをもって行動するため、監事という俯瞰的な立場だからこそ誰よりも厳しく物事を精査し、「誰もが輝くことができるおかやまのまち」を実現するための礎を築いてまいります。

また本年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会会長として出向させていただきます。新型コロナウイルスの脅威が、地域、そこに生きる全ての方々に多大なる影響をもたらしました。その中で、岡山を再建するため我々の想いを一つに、個の力ではなく岡山県全体を巻き込んで運動や活動をし続けていくため、岡山ブロック協議会会長として県下15青年会議所の発展に一意奮闘の覚悟をもって邁進してまいります。

結びとなりますが、岡山青年会議所の仲間たちLOMの支えがあつてこそその出向であり、岡山青年会議所の代表である誇りを志として率先して行動してまいります。

特別会員現役会員の皆様方にはより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

監事抱負

公益社団法人岡山青年会議所
2021年度 監事 大岩 裕季

2021年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事という大役を小林理事長よりご指名いただき、大変光栄に感じると共に、その重責を強く感じております。歴史と伝統ある岡山青年会議所の監事として責任と自覚を持ち、臨んで参ります。

昨年は新型コロナウイルスの影響が大きく、世界的な規模で大きな変革を余儀なくされた一年となってしまいました。こんな時代だからこそ、我々は青年会議所運動を通して、岡山を、日本をもっと元気にしていく使命があると思います。そのためにも、不易と流行を常に意識し、岡山青年会議所にとってプラスとなるような事業運営がされているか、事業費が適切に処理をされているかなど、俯瞰的な立場からしっかりと監査をして参ります。

また、小林理事長の基本理念や基本方針を深く理解をしたうえで、諸先輩方や青年会議所から学ばせていただいたことをメンバーに伝えていくことで、岡山青年会議所の運営に携わって参りたいと存じます。

最後になりますが、この1年間皆様の信任にお応えできる様、自らの修練の場として、職を全うして参りますので、特別会員・現役会員の皆様方にはより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【会員研修委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・ 青年経済人としての礼儀・マナーの研修
- ・ JCI Creed、JCI MISSION、JCI VISION、JC宣言・綱領、岡山JC三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・ 講師委員会の開催
- ・ 3分間スピーチの実施
- ・ 団結して困難に立ち向かい、切磋琢磨しながら一つのことを為すことにより友情を築くプログラムの実施
- ・ LOMサービス事業の企画・運営を通して、礼儀礼節とおもてなしに溢れる設営や利他の精神を学ぶプログラムの実施
- ・ コミュニティプラザの開催
- ・ 他委員会への委員会訪問の実施
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 岡山ブロック協議会の活動と出向に対する支援協力、開催事業への積極的参加
- ・ 日本JC、中国地区協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第27回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 70周年記念事業への支援・協力

【ポジティブインパクト共創委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 行政や各種団体と連携し、岡山の資源を併せた青少年育成事業の企画・実施
- ・ 岡山の地域資源に現代の技術をプラスさせた地域活性化事業の企画・実施
- ・ 岡山の歴史と資源を新たな手法で発信する地域創生事業の企画・実施
- ・ 緊急災害時における対応
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 岡山ブロック協議会の活動と出向に対する支援協力、開催事業への積極的参加
- ・ 日本JC、中国地区協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第27回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 70周年記念事業への支援・協力

【まちづくり委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」

- ・ うらじゃ開催支援広告募集事業の企画・実施
- ・ 行政・報道機関意見交換会の企画・実施
- ・ 第27回うらじゃ実行委員会への参画
- ・ うらじゃ振興会への参画、県外へのPR活動
- ・ おかやま桃太郎まつりへの協力・支援
- ・ 行政や各種団体とパートナーシップを組み、岡山の資源を輝かせる青少年育成事業の企画・実施
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 岡山ブロック協議会の活動と出向に対する支援協力、開催事業への積極的参加
- ・ 日本JC、中国地区協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 70周年記念事業への支援・協力

【地域経済連携委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 持続可能な社会推進事業の企画・実施
- ・ 岡山の未来を創る人財育成事業の企画・実施
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 岡山ブロック協議会の活動と出向に対する支援協力、開催事業への積極的参加
- ・ 日本JC、中国地区協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第27回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 70周年記念事業への支援・協力

【プラスワン創造委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員4名・前期新会員4名の獲得」
- ・ 他委員会の拡大活動目標達成のための支援
- ・ 会員拡大に向けて岡山市内の各企業・事業所への訪問
- ・ 委員長連絡会議、拡大会議の設営・開催
- ・ 入会予定者へのオリエンテーションの開催と面接の準備・設営
- ・ 暖流の発行
- ・ ホームページの作成
- ・ 新たなSNS用いた情報発信
- ・ 会員拡大AWARDSの実施
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 岡山ブロック協議会の活動と出向に対する支援協力、開催事業への積極的参加
- ・ 日本JC、中国地区協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第27回「うらじゃ」への支援・協力

- ・ 70周年記念事業への支援・協力

【渉外委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会の実施
- ・ 出向者を支援する事業の企画・設営・実施
- ・ スポンサーLOM・友好LOMとの連絡調整および交歓会の企画・設営・実施
- ・ 昭和56年生まれ卒業事業の企画・設営・実施
- ・ ASPAC、世界会議への積極的参加を促す手法の検討・構築及び参加の取り纏め
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 岡山ブロック協議会の活動と出向に対する支援協力、開催事業への積極的参加
- ・ 日本JC、中国地区協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第27回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 70周年記念事業への支援・協力

【例会委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 例会の運営・実施
- ・ 岡山ブロック協議会会長公式訪問例会の企画・設営・実施
- ・ 企画例会の企画・設営・実施
- ・ 特別会員・現役会員合同例会の企画・設営・実施
- ・ 公開例会の企画・設営・実施
- ・ 卒業生の記憶に残る例会の企画・設営・実施
- ・ みんなが輝けるスマイルの企画・設営・実施
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 岡山ブロック協議会の活動と出向に対する支援協力、開催事業への積極的参加
- ・ 日本JC、中国地区協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第27回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 70周年記念事業への支援・協力

【総務委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 適正な公益法人会計の実施
- ・ 会計経理事務及び慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・ 総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成・管理
- ・ 各委員会事業計画、収支予算、補正予算並びに事業報告、収支決算の内容精査と各会議

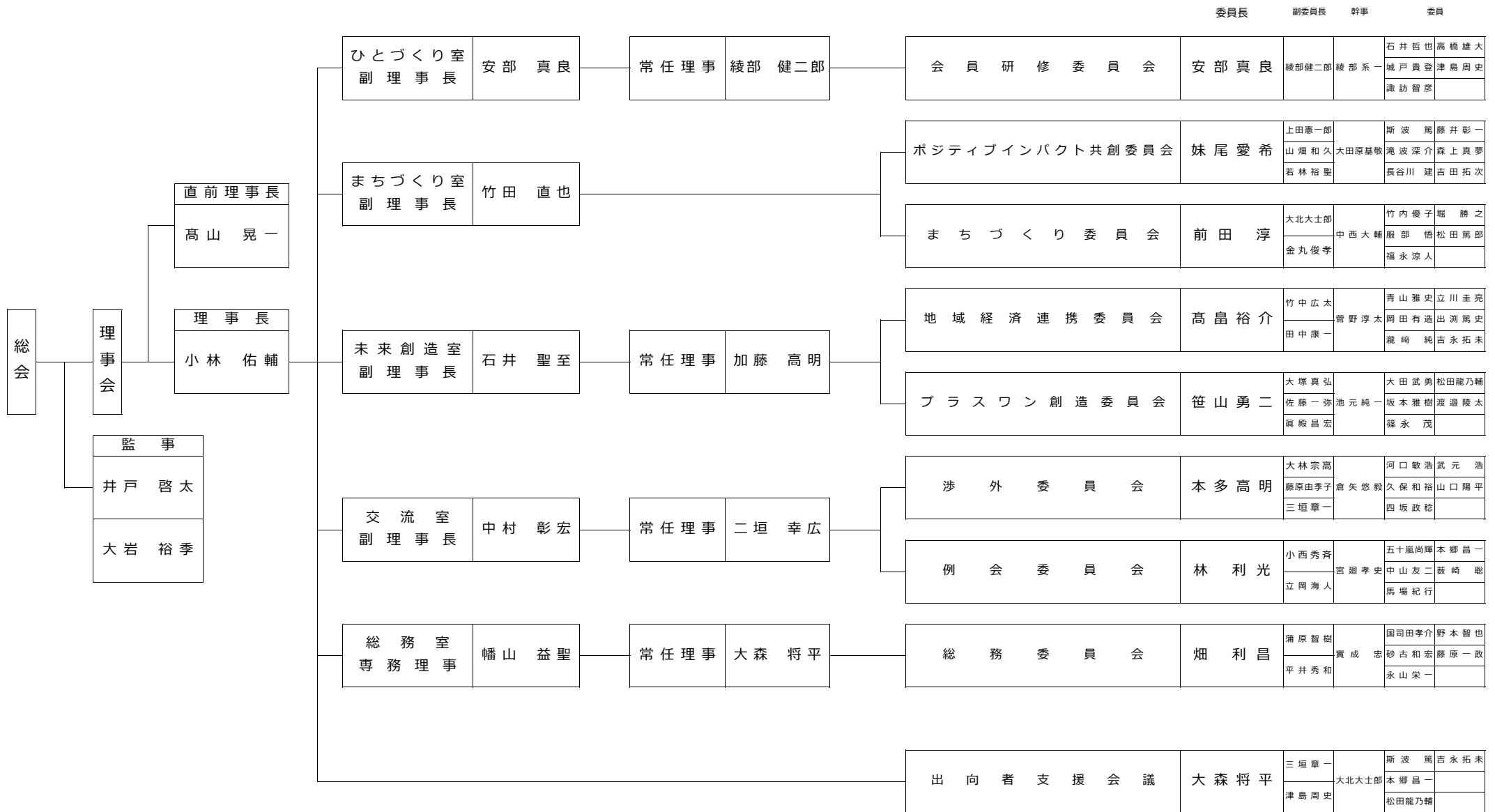
への上程資料精査

- ・ 議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・ 事業計画書、事業報告書のフォーマットの見直しと精度向上
- ・ 収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予算、補正予算、中間決算の実施
- ・ 2021年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成及び追加
- ・ LOM年間スケジュールの作成・確認
- ・ 定款並びに諸規定及び諸規則の見直し・検討
- ・ 個人情報の管理及び管理データの見直し
- ・ コンプライアンスマニュアル作成と遵守の確認
- ・ 理事合宿、理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事予定者セミナーの企画・設営・開催
- ・ シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・ JCCSへの登録促進
- ・ JCルーム・倉庫内の備品管理と発注
- ・ 情報公開の精査と実施
- ・ 事業報告書のデータ保存・管理
- ・ 新型コロナウイルス対策とガイドラインの作成
- ・ 委員長連絡会議の設営・開催
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 岡山ブロック協議会の活動と出向に対する支援協力、開催事業への積極的参加
- ・ 日本JC、中国地区協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第27回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 70周年記念事業への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 年間公式スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例会	13日(水) 例会① パッジ授与式	10日(水) 例会② 3分間スピーチ コミュニティ	3日(水) 第一例会③ 総会①	14日(水) 例会⑤	12日(水) 例会⑥	16日(水) 例会⑦ コミュニティ	7日(水) 第一例会⑧ 総会② パッジ授与式	4日(水) 例会⑨ 総会③ 3分間スピーチ 理事選挙	1日(水) 例会⑩ コミュニティ	13日(水) 例会⑪ 出向者報告	10日(水) 例会⑫	8日(水) 第一例会⑬ さよなら例会
執行部会議	7日(木) 第1回 執行部・理事合同会議	2日(火) 第2回 (WEB)	9日(火) 第3回 (WEB)	6日(火) 第4回 (WEB)	11日(火) 第5回 (WEB)	1日(火) 第6回 (WEB)	7日(火) 第7回 執行部・理事合同会議 21日(水) 第8回 執行部・理事合同会議	17日(火) 第9回 (WEB)	14日(火) 第10回 (WEB)	5日(火) 第11回 (WEB)	2日(火) 第12回 (WEB)	22日(水) 第二例会⑭ クリスマス定例会 (総務事業)
理事会	1日(金) 新年理事会	16日(火) 第2回	16日(火) 第3回	20日(火) 第4回	18日(火) 第5回	8日(火) 第6回	7日(水) 第7回 執行部・理事合同会議 21日(水) 第8回 執行部・理事合同会議	24日(火) 第9回	21日(火) 第10回	13日(水) 第11回	10日(水) 第12回	10日(金) 第一例会⑮ 執行部・理事合同会議
総務委員会	2020年12月22日(火) 第1回 19日(火) 第2回	25日(木) 第3回	30日(火) 第4回	27日(火) 第5回	25日(火) 第6回	22日(火) 第7回	13日(火) 第8回	10日(火) 第9回	7日(火) 第10回 28日(火) 第11回	19日(火) 第12回	16日(火) 第13回	
行事	7日(木) 新年挨拶回り 13日(木) 岡山JC新年式典 21日(木)～24日(日) 京都会議	5日(金) 歴代理事長会議		〇〇日(〇) 創立70周年記念事業			17日(土)～18日(日) サマーコンファレンス(横浜)	未定 第27回うらじや		8日(金)～11日(月) 全国大会(とちぎ宇都宮)		22日(木) クリスマス定例会(総務事業)
役員会議	16日(土) (岡山) 30日(土) (岡山)	6日(土) (高松) 26日(金) (津山)	11日(木) 29日(月) (倉敷)	15日(木) 21日(水) (岡山)	8日(土) 21日(金) (玉島)	4日(金) 15日(火) (備前)			10日(金) (WEB) 22日(火) (総社)	6日(水) (WEB) 26日(火) (岡山)	4日(木) (WEB) 23日(火) (岡山)	
会員会議所会議	30日(土) (岡山)	26日(金) (岡山)	29日(月) (倉敷)	21日(水) (岡山)	21日(金) (玉島)	20日(日) (備前)			22日(水) (総社)	26日(火) (岡山)	23日(火) (岡山)	
公式訪問		〇〇日(〇)(〇〇) 総社・高梁	15日(月)(倉敷) 倉敷・児島・玉島 24日(水)(岡山) 岡山 〇〇日(〇)(笠岡)	〇〇日(〇)(〇〇) 玉野・西大寺・備前 〇〇日(〇)(〇〇) 津山・真庭・新見・美作								
事業						20日(日)(備前) 岡山ブロック大会					23日(火)(岡山) 本次年度引継式	
周年行事				4日(日) 玉島65周年 29日(木) 児島65周年				21日(土) 西大寺60周年				
その他	12日(火) 新年挨拶回り 13日(水)(岡山) 岡山JC新年賀詞交歓会 11日(月)(倉敷) 倉敷JC新年互例会			25日(日)(井原) ブロック競輪野郎大会	〇〇日(〇)(〇〇) ブロックじゃがいも大会							
正副会議	8日(金)(WEB) 21日(水)(京都)	5日(金)(WEB) 18日(木) 12日(金)	5日(金)(WEB) 19日(金) 12日(金)	2日(金)(WEB) 23日(金) 16日(金)	7日(金)(WEB) 22日(土) 14日(金)	2日(水)(WEB) 23日(水) 16日(金)	9日(金)(WEB) 16日(金)		3日(金)(WEB) 25日(土) 17日(金)	4日(月)(WEB) 23日(土) 13日(水)	5日(金)(WEB) 13日(土) 26日(金)	3日(金)(WEB) 4日(土) (鳥取)
財政審査会議												
役員会議	21日(木) (京都)	18日(木)	19日(金)	2日(金)	22日(土)	23日(水)	10日(土)		25日(土)	23日(土)	13日(土)	4日(土) (鳥取)
会員会議所会議	22日(金) (京都)						10日(土)					4日(土) (鳥取)
事業									19日(日) 地区コンファレンス (児島)			
周年行事												
ブロック事業												
その他									4日(土)～5日(日) 地区野球大会(〇〇)			
正副会議	7日(木)	10日(水)	5日(金)	1日(木)	7日(金)	3日(木)	8日(木)		2日(木) 9日(木)	1日(金)	4日(木) 11日(木)	6日(月) 16日(木)
常任理事会	13日(金)	25日(金)	9日(火)	16日(金)	14日(金)	18日(金)	15日(木)		27日(月) 17日(金)	5日(火)	26日(金)	17日(金)
理事会	22日(金) (京都)	20日(土)	10日(水)	17日(土)	15日(土)	19日(土)	16日(金) (横浜)		18日(土)	8日(金) (宇都宮)	27日(土)	18日(土)
ブロック会長会議												
総会	23日(土)(京都)		27日(土)(東京)							8日(金)(宇都宮)		
JCI諸会議	JCI常任理事会/理事会 (JCI JEM/JBM)			アメリカ地域会議 19日(水)～22日(土) アフリカ・中東地域会議	アジア・太平洋地域会議	JCI中間常任理事会 (JCI MYE)					JCI世界会議 16日(火)～20日(土)	
NOM主要事業	京都会議(京都) 21日(木)～24日(日)						国際アカデミー サマーコンファレンス(横浜) 17日(土)～18日(日)			全国大会(とちぎ宇都宮) 8日(金)～11日(月)		
財政審査会議	9日(土) 10日(日)	13日(土) 14日(日)	6日(土) 7日(日)	10日(土) 11日(日)	8日(土) 9日(日)	5日(土) 6日(日)	10日(土) 11日(日)		4日(土) 5日(日)	2日(土) 3日(日)	13日(土) 14日(日)	11日(土) 12日(日)
公益審査会議	9日(土)	13日(土)	6日(土)	10日(土)	8日(土)	5日(土)	10日(土)		4日(土)	2日(土)	13日(土)	11日(土)
コンプライアンス審査会議	9日(土)	13日(土)	6日(土)	10日(土)	8日(土)	5日(土)	10日(土)		4日(土)	2日(土)	13日(土)	11日(土)

公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 2021年度

出向者

総務グループ

ブランディング戦略会議

副議長	二垣 幸広
委員	大林 宗高
委員	竹内 優子
委員	長谷川 建
委員	眞殿 昌宏
委員	河口 敏浩

組織グループ

アカデミー委員会

委員	五十嵐 尚輝
委員	蒲原 智樹

地域グループ

スポーツ活性化委員会

委員	山畑 和久
----	-------

国家グループ

全国大会運営会議

委員	高畠 裕介
----	-------

国土強靱化委員会

委員	滝波 深介
委員	中村 彰宏

公益社団法人日本青年会議所

中国地区協議会 2021年度

出向者

副会長	石井 聖至
会長幹事	諏訪 智彦
副会長幹事	出淵 篤史
副会長幹事	森上 真夢

地域の質的価値創造委員会

副委員長	山畑 和久
------	-------

総務・広報・渉外委員会

委員	立岡 海人
----	-------

中国地区コンファレンス運営委員会

委員	藤原 由季子
----	--------

公益社団法人日本青年会議所
中国地区 岡山ブロック協議会 2021年度

出向者

会長	井戸 啓太
運営専務	大森 将平
事務局長	三垣 章一
財政局長	津島 周史
総括幹事	大北 大士郎
事務局長補佐	吉永 拓未
財政局長補佐	松田 龍乃輔
会長幹事	本郷 昌一
会長幹事	斯波 篤

拡大ブランディング特別会議

副議長	平井 秀和
委員	四坂 政稔

会員研修委員会

副委員長	小西 秀斉
委員	青山 雅史

夢描く人財育成委員会

副委員長	上田 憲一郎
委員	久保 和裕

未来輝く岡山創造委員会

副委員長	野本 智也
委員	松田 篤郎

公益社団法人岡山青年会議所

2021年度 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー

竹中 広太

セクレタリー

大田 武勇

国司田 孝介

公益社団法人岡山青年会議所

2021年度 直前理事長セクレタリー

セクレタリー

瀧崎 純

永山 栄一

公益社団法人岡山青年会議所

2021年度 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー

委員長

綾部 健二郎

副委員長

佐藤 一弥

幹事

山口 陽平

委員

久保 和裕

竹内 優子

長谷川 建

堀 勝之

公益社団法人 岡山青年会議所
収支予算書（案）
2021年1月1日から2021年12月31日まで

（単位：円）

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	10,000	10,000	0	
特定資産利息収入	10,000	10,000	0	
②受取入会金収入	3,600,000	2,200,000	1,400,000	
受取入会金収入	3,600,000	2,200,000	1,400,000	
③会費収入	23,750,000	21,845,000	1,905,000	
正会員会費収入	20,700,000	18,540,000	2,160,000	
特別会員会費収入	2,800,000	2,880,000	-80,000	
特別会員積立金収入	250,000	425,000	-175,000	
④事業収入	37,674,433	32,530,360	5,144,073	
登録料収入	37,234,433	15,758,000	21,476,433	
広告料収入	440,000	16,772,360	-16,332,360	
⑤受取補助金等収入	0	0	0	
⑥受取負担金収入	1,500,000	500,000	0	
⑦受取寄付金収入	5,080,000	220,000	4,860,000	
受取寄付金収入	5,080,000	220,000	4,860,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	1,000	1,000	0	
受取利息収入	1,000	1,000	0	
雑収入			0	
事業活動収入計	71,615,433	57,306,360	13,309,073	
2. 事業活動支出	0	0	0	
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	70,428,456	55,265,932	15,162,524	
総務費支出	300,000	600,000	-300,000	
事務所費支出	3,080,000	3,080,000	0	
会議費支出	0	0	0	
給料手当支出	1,300,000	1,300,000	0	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	12,000	0	12,000	
事務委託費支出	605,000	919,467	-314,467	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信費支出	1,188,337	997,956	190,381	
印刷費支出	2,675,589	2,341,800	333,789	
消耗品支出	839,793	876,318	-36,525	
光熱水料金支出	0	19,872	-19,872	
会員費支出	1,100,000	1,100,000	0	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	0	0	0	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	200	200	0	
渉外費	309,961	309,961	0	
J C I 渉外費	318,000	2,060,000	-1,742,000	
備品購入支出	100,000	597,592	-497,592	
雑支出	100,000	101,080	-1,080	
賃借料	5,067,375	4,274,732	792,643	
保険料	263,214	106,270	156,944	
諸謝金	2,501,880	2,156,160	345,720	
委託費	26,777,160	16,062,869	10,714,291	
助成金	18,476,732	16,681,750	1,794,982	
寄付金	3,000,000	0	3,000,000	
接待交際費	569,540	896,956	-327,416	
雑費	479,460	0	479,460	
予備費	1,364,215	782,949	581,266	
③負担金支出	2,116,024	1,908,408	207,616	
加盟団体会費支出	2,116,024	1,908,408	207,616	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	72,544,480	57,174,340	15,370,140	
事業活動収支差額	-929,047	132,020	-1,061,067	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
保証金戻り収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出計			0	
①特定資産取得支出	0	0	0	
積立引当財産支出		0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	-929,047	132,020	-1,061,067	
前期繰越収支差額			0	
次期繰越収支差額				

公益社団法人 岡山青年会議所
正味財産増減計算書（案）
2021年1月1日から2021年12月31日まで

（単位：円）

科目	予算額	予算額（公益）	予算額（共益等）	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	10,000	10,000		10,000	0
基本財産受取利息	10,000	10,000		10,000	0
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入会金	3,600,000	1,800,000	1,800,000	2,200,000	1,400,000
受取入会金	3,600,000	1,800,000	1,800,000	2,200,000	1,400,000
受取会費	23,750,000	11,875,000	11,875,000	21,845,000	1,905,000
正会員受取会費	20,700,000	10,350,000	10,350,000	18,540,000	2,160,000
特別会員受取会費	2,800,000	1,400,000	1,400,000	2,880,000	-80,000
特別会員積立金収入	250,000	125,000	125,000	425,000	-175,000
事業収益	37,674,433	29,192,433	8,482,000	32,530,360	5,144,073
青少年育成事業収益	900,000	900,000	0	1,320,000	-420,000
人材育成事業収益	2,400,000	2,400,000	0	0	2,400,000
地域活性化事業収益	25,892,433	25,892,433	0	24,096,360	1,796,073
会員研修事業収益	8,482,000	0	8,482,000	7,114,000	1,368,000
受取補助金等					
受取国庫補助金	0	0		0	0
受取負担金	1,500,000	1,500,000		500,000	1,000,000
受取負担金	1,500,000	1,500,000		500,000	1,000,000
受取負担金振替額					
受取寄付金	5,080,000	5,080,000		220,000	4,860,000
受取寄付金	5,080,000	5,080,000		220,000	4,860,000
募金収益					
受取寄付金振替額					
雑収益	1,000	500	500	1,000	0
受取利息	1,000	500	500	1,000	0
有価証券運用益	0			0	0
雑収益	0			0	0
経常収益計	71,615,433	47,957,933	22,157,500	57,306,360	13,309,073
経常費用					
事業費	66,881,045	53,959,595	12,921,450	49,299,855	17,581,190
給料手当	1,137,500	975,000	162,500	1,137,500	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
接待交際費	569,540	0	569,540	896,956	-327,416
福利厚生費	12,000	12,000	0	0	12,000
旅費交通費	0	0	0	0	0
通信運搬費	1,113,337	828,444	284,893	922,956	190,381
減価償却費	0	0	0	0	0
什器備品費	87,500	75,000	12,500	522,893	-435,393
消耗品費	796,043	628,800	167,243	832,568	-36,525
印刷製本費	2,539,889	2,360,749	179,140	2,206,100	333,789
燃料費	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	19,872	-19,872
賃借料	7,762,375	4,852,170	2,910,205	6,969,732	792,643
保険料	263,214	256,590	6,624	106,270	156,944
諸謝費	2,501,880	2,501,880	0	2,156,160	345,720
租税公課	200	200	0	200	0
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	18,476,732	18,476,732	0	16,681,750	1,794,982
支払寄付金	3,000,000	3,000,000	0	0	3,000,000
委託費	26,777,160	18,841,176	7,935,984	16,062,869	10,714,291
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	479,460	477,700	1,760	1,080	478,380
予備費	1,364,215	673,154	691,061	782,949	581,266
管理費	5,663,435		5,663,435	7,874,485	-2,211,050
給料手当	162,500		162,500	162,500	0
臨時雇賃金	0		0	0	0
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	75,000		75,000	75,000	0
減価償却費	0		0	0	0
什器備品費	12,500		12,500	74,699	-62,199
消耗品費	43,750		43,750	43,750	0
印刷製本費	135,700		135,700	135,700	0
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	385,000		385,000	385,000	0
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
支払負担金	2,116,024		2,116,024	1,908,408	207,616
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	2,005,000		2,005,000	2,619,467	-614,467
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	727,961		727,961	2,469,961	-1,742,000
経常費用計	72,544,480	53,959,595	18,584,885	57,174,340	15,370,140
当期経常増減額	-929,047	-6,001,662	3,572,615	132,020	-2,061,067
当期一般正味財産増減	-929,047	-6,001,662	3,572,615	132,020	-2,061,067
一般正味財産期首残高				53,242,133	0
一般正味財産期末残高				53,374,153	

公益目的事業比率	53,959,595	=	0.744
	72,544,480		

(単位：円)

(単位：円)

公益社団法人岡山青年会議所 2021年度理事長公職

岡山県青少年育成県民会議 理事

岡山県FOS少年団連盟 理事

社会福祉法人岡山県共同募金会 評議員

岡山中央暴力追放推進協議会 会員

岡山県西暴力追放推進協議会 会員

「小さな親切」運動岡山本部 役員

第71回”社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員

自然と共生プロジェクト推進会議 委員

国立吉備少年自然の家 施設業務運営委員会 委員

民間活力による運動部活動支援研究会 委員

岡山市交通安全対策協議会 委員

岡山国際音楽祭実行委員会 実行委員

岡山市献血推進協議会 委員

公益財団法人岡山市公園協会 評議員

春の花いっぱい運動 主催団体

MOMOTAROH FANTASY実行委員会 実行委員長

「心豊かな岡山っ子」応援団 団員

岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員

岡山地方裁判所委員会 委員

岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事

岡山まちとモビリティ研究会 会員

岡山っ子育成条例推進会議 委員

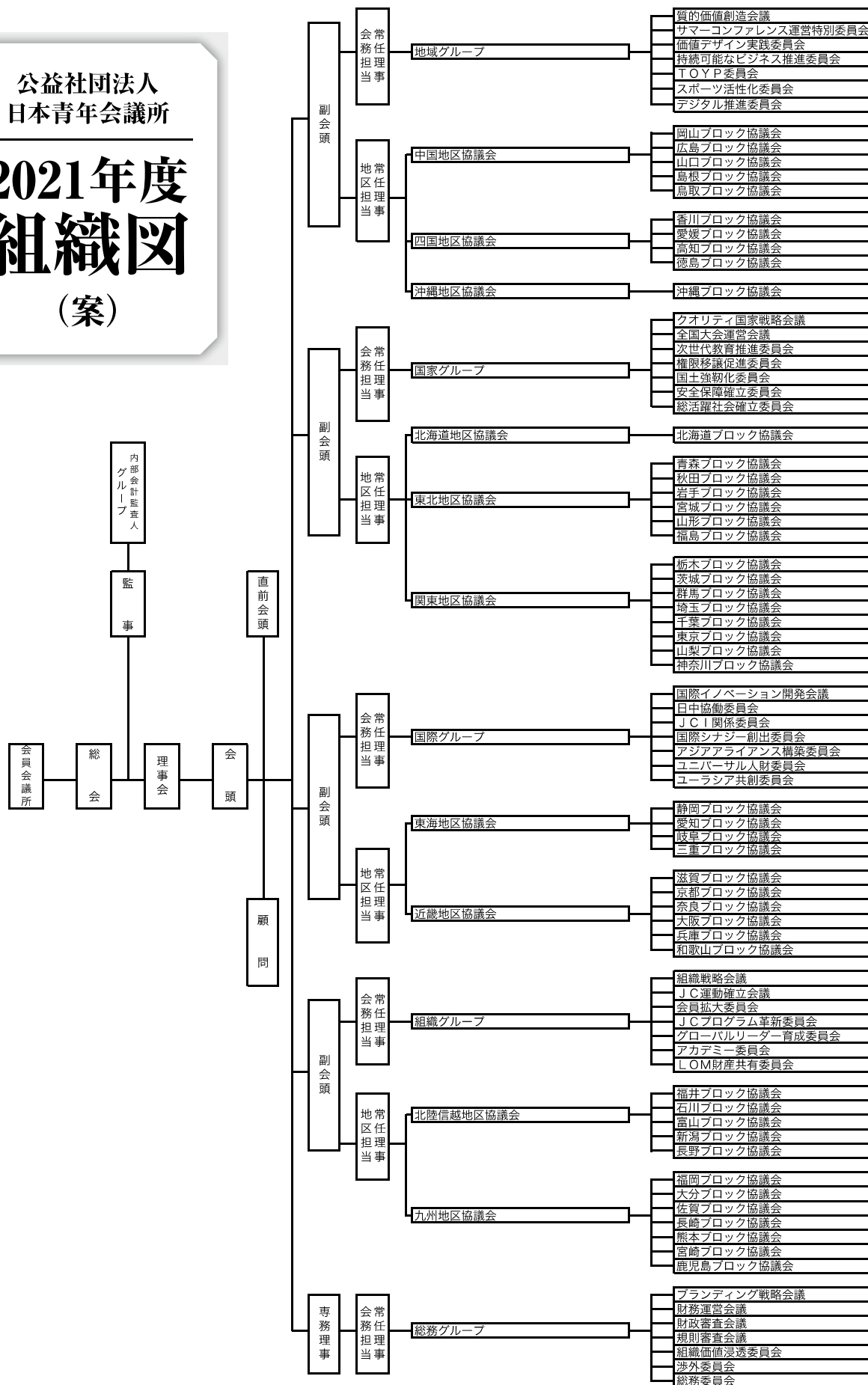
旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員

岡山県日韓親善協会 理事

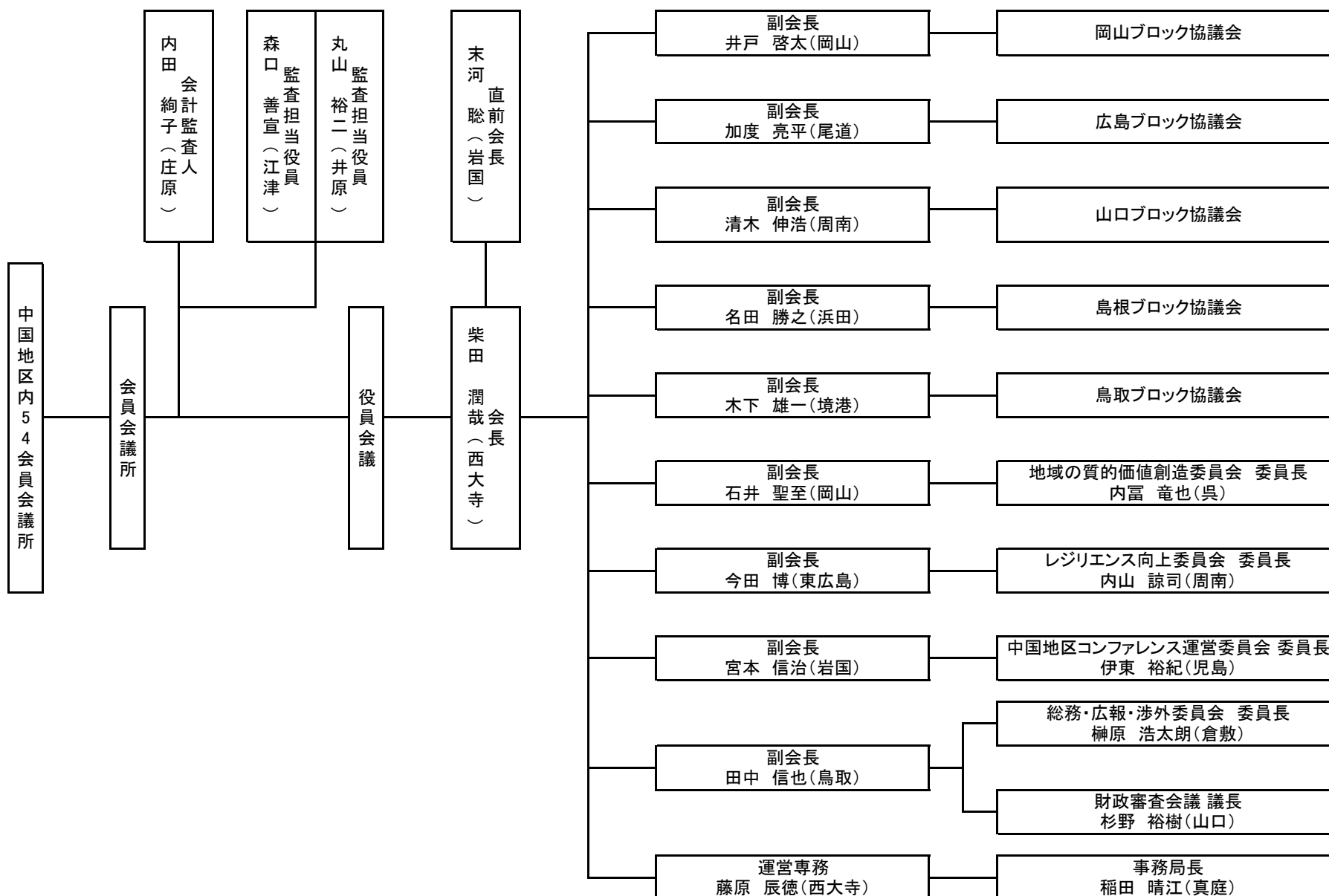
岡山県警察友の会 会員

「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

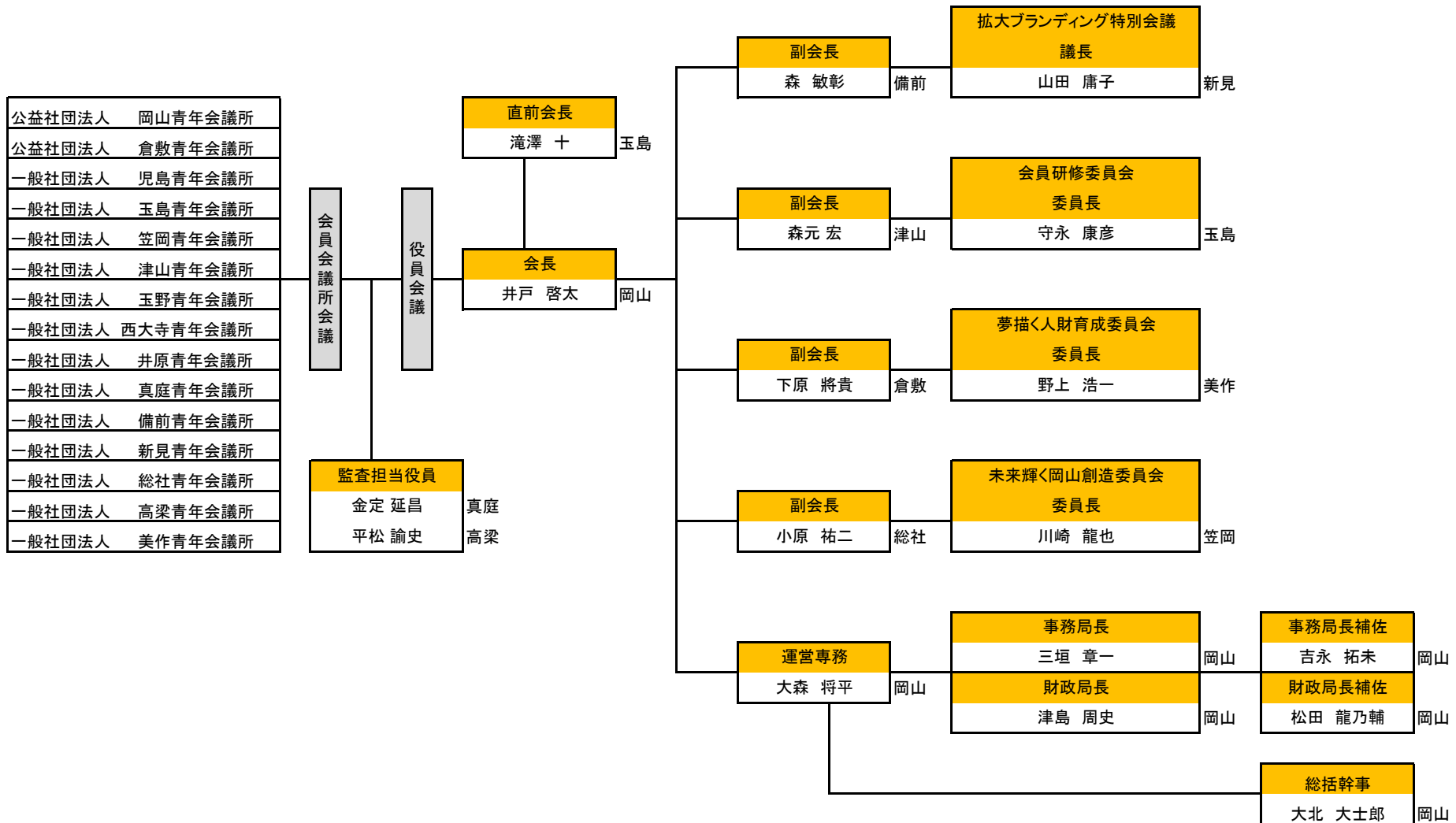
2021年度 組織図 (案)



公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2021年度組織図(案)



公益社団法人 日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2021年度 組織図



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初 代	1951 年	江 見 祐 吉	第36代	1986 年	末 長 範 彦
第 2 代	1952 年	江 見 祐 吉	第37代	1987 年	伊原木 省 五
第 3 代	1953 年	松 田 基	第38代	1988 年	池 田 金治郎
第 4 代	1954 年	松 田 基	第39代	1989 年	若 林 昭 吾
第 5 代	1955 年	服 部 好 郎	第40代	1990 年	中 島 康 博
第 6 代	1956 年	稲 田 洋 一	第41代	1991 年	永 野 資 幸
第 7 代	1957 年	藤 木 昌 二	第42代	1992 年	松 田 久
第 8 代	1958 年	池 田 徳五郎	第43代	1993 年	服 部 恭一郎
第 9 代	1959 年	庭 瀬 欣一郎	第44代	1994 年	柳 井 淳
第10代	1960 年	松 田 堯	第45代	1995 年	森 下 矢須之
第11代	1961 年	関 種 雄	第46代	1996 年	西 康 宏
第12代	1962 年	西 下 賢 治	第47代	1997 年	梶 谷 俊 介
第13代	1963 年	逢 沢 英 雄	第48代	1998 年	稲 荷 泰 瑛
第14代	1964 年	石 原 真 臣	第49代	1999 年	永 山 久 人
第15代	1965 年	小 林 達 也	第50代	2000 年	黒 瀬 仁 志
第16代	1966 年	中 島 輝 夫	第51代	2001 年	西 川 智 晴
第17代	1967 年	黒 瀬 友 近	第52代	2002 年	岡 崎 正 裕
第18代	1968 年	小 林 稔	第53代	2003 年	藤 原 史 曉
第19代	1969 年	奥 山 勝太郎	第54代	2004 年	梶 原 康 彦
第20代	1970 年	中 島 博	第55代	2005 年	八 木 一 成
第21代	1971 年	木 原 佑 一	第56代	2006 年	占 部 守 弘
第22代	1972 年	黒 瀬 敦 美	第57代	2007 年	吉 村 武 大
第23代	1973 年	中 野 英 一	第58代	2008 年	石 田 敦 志
第24代	1974 年	徳 元 秀 臣	第59代	2009 年	永 山 雅 己
第25代	1975 年	福 武 和 彦	第60代	2010 年	岸 本 浩 二
第26代	1976 年	片 山 義 久	第61代	2011 年	中 山 賢太郎
第27代	1977 年	伊原木 一 衛	第62代	2012 年	有 松 林太朗
第28代	1978 年	石 田 規 夫	第63代	2013 年	尾 崎 茂
第29代	1979 年	藤 原 敬 介	第64代	2014 年	鈴 森 賢 史
第30代	1980 年	前 坂 匡 紀	第65代	2015 年	久 松 朋 史
第31代	1981 年	服 部 弘 平	第66代	2016 年	佐 野 範 一
第32代	1982 年	野 津 喬	第67代	2017 年	高 見 宣 哉
第33代	1983 年	岡 崎 彬	第68代	2018 年	青 木 浩 平
第34代	1984 年	滝 澤 輝 治	第69代	2019 年	古 市 聖一郎
第35代	1985 年	小 嶋 光 信	第70代	2020 年	高 山 晃 一

(敬称略)

J C 宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う